



液体芳香剤の誤飲 重症になることも

事例

トイレに置いていた液体芳香剤を誤飲した。

3回吐き、激しくせき

込んだ。その後、熱が出て、呼吸が速くなった。翌日病院に行ったら化学性肺炎と診断され2週間入院した。胸部CTにて、肺の一部が空洞のようになっている箇所がみられ、治るかどうかは不明である。

(当事者：1歳 男児)



©Kurosaki Gen

ひとことアドバイス

- 液体芳香剤は、乳幼児の手や目が届かない場所で使用・保管しましょう。
- 液体芳香剤の液は、気管に入ると化学性肺炎を生じる危険があります。誤飲しても慌てて吐かせずに、商品名と飲んだと思われる量を確認し、すぐに
- かかりつけ医や中毒110番等に相談しましょう。
- 液体芳香剤の液が目に入った場合は、すぐに流水で洗い流しましょう。皮膚に付いた場合は、かぶれるおそれがあるので石けんなどでよく洗いましょう。

(誤飲した場合の主な相談機関)

「公益財団法人日本中毒情報センター 中毒110番」
大阪：072-727-2499 (365日、24時間対応)
つくば：029-852-9999 (365日、9～21時対応)

さぼーとくん

